

毘沙門のイチョウについて

- 1 概要
- | | |
|-------|--------------------|
| 指定番号 | 第6号 |
| 指定年月日 | 平成21年2月19日 |
| 所在地 | 八戸市田向三丁目1-3（毘沙門公園） |

平成30年2月9日、八戸市都市計画事業田向土地区画整理事業の換地処分公告がなされたことから、毘沙門公園の公園施設として八戸市へ管理引継となり、平成30年度から八戸市の管理となった。

2 経過

平成17年度	現在地へ移植
平成23年度	樹勢衰退、根の一部に腐朽進行
平成28年度 (ナラタケ菌 対策1年目)	樹勢衰退の根本的な原因はナラタケ菌による腐朽であることが判明。 ・ナラタケ病の治療及び土壌改良等の養生管理を実施。 ・樹木医による公開樹木診断（4/22）
平成29年度 (ナラタケ菌 対策2年目)	・ナラタケ病の治療及び土壌改良等の養生管理を実施。 ・ワイヤー支柱補強作業を実施（8本増、計12本） ・樹木医による公開樹木診断（9/15）
平成30年度 (ナラタケ菌 対策3年目)	前年度と同様にナラタケ病の治療及び土壌改良等の養生管理を実施。 ・ナラタケ菌糸除去及び土壌殺菌 ・不定根発根促進誘導工 ・灌水施工 ・樹木医による公開樹木診断（9/27）
令和元年度 (ナラタケ菌 対策4年目)	前年度と同様にナラタケ病の治療及び土壌改良等の養生管理を実施。 ・ナラタケ病菌糸拡大防止殺菌工 ・樹勢回復及び土壌改良工 ・灌水施工 ・樹木医による公開樹木診断（9/20）
令和2年度 (ナラタケ菌 対策5年目)	前年度と同様にナラタケ病の治療及び土壌改良等の養生管理を実施。 ・ナラタケ病菌糸拡大防止殺菌工 ・樹勢回復及び土壌改良工 ・灌水施工 ・樹木医による公開樹木診断（9/23）

3 状況

- ・幹の北西部の根の発育が良好であり、枝葉の生育も活発である。北東部には新たな根が確認できた。
- ・実が200個程度に増え、胴吹きが発育も複数個所で確認された。
- ・総合的には回復傾向ではあるものの、根が菌糸に侵されている状況にある。
- ・殺菌剤と改良剤を用いた治療を継続しているが、ナラタケ菌に対して薬剤効果が思うように持続できず繁殖を抑えきれないと考えられる。

4 今後の養生管理について

引き続きナラタケ病の治療及び土壌改良等の養生管理を行い、来年度は殺菌等の回数を増やすこととし、必要経費を当初予算で要求。

H21.7 撮影 (南側)



R1.9.20 撮影 (南東側)



R2.9.23 撮影

(南側)



(北西側)

(北東側)

